

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（課長等）	30年 9月 28日
2次評価日（部長等）	30年 10月 1日

# 施策評価表

## 1 施策の概要

施策名	工業の振興	コード	1-1
この施策の主な内容（細施策）	(1)企業立地の推進 (2)工業活性化対策の推進 (3)経営環境の充実(4)産業の連携・交流 (5)テクノプラザおかの活用		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	岡谷市工業活性化計画に基づき積極的な産業振興を推進し、産業の活性化と雇用の創出や長年培った超精密微細加工技術をオンリーワン技術とし、たくましい産業を構築する。		
担当部課	部 産業振興部	課等 工業振興課	作成者 木下 稔

## ●施策の実施内容（D0）

### 2 施策指標の達成状況

\* 第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：30年度）

施策指標名	単位	27年度	28年度	29年度			30年度	31年度
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 製造業の粗付加価値額	億円	953	790	976	-	-		
指標説明	平成28年度以降の目標数値は、前年度比1.2%増とする（平成30年度は工業活性化計画の目標数値）。平成29年度の実績値は「経済センサス（総務省実施）」の調査結果の公表が31年5月末となるため未入力。							
② 製造業事業所数の前年比	%	100	100	100	100	100.0%	100	
指標説明								
③ 製造品出荷額	億円	1,747	1,603	1,789	-	-		
指標説明	平成28年度以降の目標数値は、前年度比1.2%増とする。平成29年度の実績値は「経済センサス（総務省実施）」の調査結果の公表が31年5月末となるため未入力。							

### 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	27年度	28年度	29年度	30年度
直接事業費	1,782,310	1,594,907	1,081,972	1,248,461
人件費	68,800	68,800	61,600	70,400
合計コスト	1,851,110	1,663,707	1,143,572	1,318,861

## ●施策の評価（CHECK）

### 4 施策の現状評価

\* 29年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

積極的な企業誘致活動を行った結果、2社の誘致が実現し、進行中の案件に対しては、誘致の実現に向け継続的に取り組んだ。また、大手企業や中京圏企業との商談会を開催することで受注機会を創出し、全国規模の展示会への出展を通じて小規模企業が保有する技術力のPRに努めたほか、中小企業経営技術相談所による経営・技術相談、成長戦略分野への進出等の相談に対応するとともに、経営者の高齢化等に伴う事業承継支援にも取り組んだ。更に若手経営者のグループ活動を支援し、若手人材と理事者による情報交換会を開催するなど、ものづくり人材の育成支援を積極的に行った。

\* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	精密部品加工の高度な保有技術や完成品に至る幅広い業種の集積地であること。長野県工業技術総合センター精密電子部門、信州大学工学部大学院サテライトキャンパスなど支援機関が市内に立地している。また、創業に対する意識が高い。
岡谷市の弱み	工業用地が狭隘で、周辺地域に比べ地価が高い。

### 5 今後の外部環境の変化

\* 30年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	国内景気回復、円安による国内製造業設備の投資
不利に働くもの	製造現場での人材不足、企業の後継者不足による事業廃止の恐れ

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成31年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

\* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
 \* 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	産業集積の維持発展のため、既存企業の支援、企業誘致、新技術・新製品開発の取り組み、受注販路の拡大、創業者支援、ものづくり人材の育成、事業承継の支援を柱に施策に取り組んでいく。
見直しを行う分野	中小企業への制度資金や助成制度内容を津年井見直し時宜にかなった対応を行う。

●31年度の優先度

\* 方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標	単位	直接事業費				人件費	妥当性	方向性	優先度
							27年度	27年度	27年度	28年度				
1	一般	なし	なし	企業誘致推進事業	引き合い数	件	4	10,122	8,800	高い	継続して実施	A：拡大		
							2	7,563	8,800					
							0	4,926	8,800					
								7,165	8,800					
2	一般	なし	なし	工業活性化計画推進事業	工業活性化会議の回数	件	2	127,934	8,000	高い	継続して実施	A：拡大		
							2	208,692	8,000					
							2	129,553	8,000					
							6	115,761	14,400					
3	一般	なし	なし	ものづくり基盤整備強化事業	修了者数	人	279	14,179	5,600	高い	継続して実施	B：現状維持		
							296	13,262	5,600					
							149	10,957	5,600					
							149	17,661	5,600					
4	一般	なし	なし	新分野開拓推進事業	商談引合件数	件	72	13,789	6,400	高い	継続して実施	B：現状維持		
							98	11,261	5,600					
							109	13,144	5,600					
							109	16,627	5,600					
5	一般	なし	なし	中小企業経営技術相談所事業	相談件数	件	1,843	13,269	4,000	高い	継続して実施	B：現状維持		
							2,392	10,354	2,400					
							2,142	10,396	2,400					
							2,142	9,869	2,400					
6	一般	なし	なし	中小企業経営強化支援事業	補助金交付件数	件	80	8,527	4,800	高い	継続して実施	B：現状維持		
							80	1,774	4,800					
							62	1,583	4,800					
							62	2,114	4,800					
7	一般	なし	なし	ものづくり人材育成支援事業	参加企業数	件	17	1,151	5,200	高い	継続して実施	B：現状維持		
							16	1,053	4,800					
							20	1,088	4,800					
							20	1,067	4,800					
8	一般	なし	なし	中小企業金融対策事業	融資金額	千円	1,061,940	1,370,721	7,200	高い	継続して実施	A：拡大		
							1,125,261	1,138,261	5,600					
							836,080	878,153	5,600					
							836,080	1,047,448	5,600					
9	一般	なし	なし	産業振興企画事務	懇談会への参加者数	人	70	715	7,200	高い	継続して実施	A：拡大		
							64	1,775	7,200					
							67	1,077	7,200					
							67	1,494	9,600					
10	一般	なし	なし	産業連携・交流推進事業	参加企業数	人	16	3,918	4,400	高い	継続して実施	B：現状維持		
							19	3,570	4,000					
							40	3,543	4,000					
							40	3,579	4,000					

●31年度の優先度

\*方向性が「継続」の事業についてA~Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費	人件費	妥当性	方向性	優先度	
					指標名	単位	27年度	27年度				27年度
							28年度	28年度				28年度
							29年度	29年度				29年度
		30年度	30年度	30年度								
11	公共施設	なし	テクノプラザ おかや管理事業	施設稼働率	%	24.4	30,582	6,400	高い	継続して 実施	B： 現状 維持	
						24.5	25,291	4,800				
						24.5	27,552	4,800				
						-	25,676	4,800				
12												
13												
14												
15												